

地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会 概要（速報版）

第2回	
日 時	平成 26 年6月2日（月）午前 1 0 時～午後 0 時 15 分
会 場	新潟市役所第 1 分館 1 階 1－1 0 1 会議室
出席者	委員 渡邊委員，細野委員，森委員，豊岡委員，田村委員，棚村委員，岡本委員，若林委員，右近委員，新藤委員，富澤委員，丸田委員，山賀委員，香田委員，河野委員
	事務局等 市民生活部長，市民生活部次長，市民協働課長補佐，市民協働課主幹ほか
傍聴者	2名（うち報道1名）
主な議題	<p>○ 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 丸田座長あいさつ <p>○ 議題（1）「コミ協の位置づけ・役割」について【資料1】【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より「コミ協の位置づけ・役割」について，前回の検討委員会で出された意見や検討内容の説明を行いました。 <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の理念に抵触しないよう，自治基本条例を改正するのではなく，他の条例等で規定するべきだ。 <p>○ 議題（2）「コミ協への支援」について【資料3】【資料4】【資料5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より「コミ協への支援」について，説明を行いました。 <p>＜補助制度に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協の活動を市民還元事業だけで補助するのはいかなものか。 ・現在の地域活動補助金が3段階の補助率なのは良いが，対象事業をより明確化してほしい。 ・事務局がきちんとしているとコミ協が動くので，運営助成金は桁を一つ増やしてほしい。 ・コミ協の事務を専門に行う専従を2名雇えると良いと思う。 ・人件費について，各コミ協で会費の有無など実情が違うので，全市統一は無理だと思う。 ・拠点の整備と財政的な支援は一緒に考える必要がある。 <p>＜活動拠点に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧新潟市域と合併地域は状況が違うので，全体で議論してもかみ合わない。 ・コミ協が自治会集会所や学校の一室を借りる際に，市の支援として「橋渡し」をしてほしい。 ・出張所や連絡所はあるが，専用ではない。 ・公民館を活用すれば拠点はある程度整っていると思うが，専従の職員を置けるかはこれからの検討だと思う。 ・市は施設整備をまず行うべきだと思う。 <p>＜人的支援に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成講座は，役に立つものをやってほしい。「この人をプロに育てる」くらいの目的があって良いと思う。 ・コミ協に限らず周知して，スキルアップできるようにしてほしい。修了証を発行してはどうか。 ・人材バンクで情報網を作り，活用してはどうか。 ・区役所職員に各コミ協の担当をしてもらうのが良いと思う。 ・コミ協の立ち位置がしっかりしないと，人材育成はできないと思う。 ・市役所職員でコミ協活動に参加する人が少ない。

- 議題（3）「外部との協働・協力」について【資料6】
 - 時間超過のため、次回第3回でご意見をいただくことにしました。

- 閉会

会議資料

- 次 第

- 資 料 1：第1回「地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会」の意見

- 資 料 2：「コミ協の位置づけ・役割」の検討について

- 資 料 3：地域コミュニティ協議会への支援制度一覧

- 資 料 4：地域コミュニティ協議会への主な支援状況

- 資 料 5：検討のポイント

- 資 料 6：「外部との協働・協力」の検討について

- 参 考 資 料：「新潟市木戸地域コミュニティ協議会」資料

※ 詳細については、後日、改めて掲載いたします。